

アフガニスタンにおける民軍関係

1)アフガニスタンの現状

国際治安支援部隊 (ISAF) とは

- ・ 国連決議に基づき NATO 中心にアフガニスタンに派遣され、治安維持を目的とした外国軍。当初はテロとの戦いと区別されていたが、ISAF の地方展開に伴い、現在ではテロとの戦いと ISAF の区別がつかなくなる状況。

アフガニスタン市民の現状認識

- ・ 09年2月BBCなどがアフガニスタン市民に対して調査。米国によるアフガニスタンでのパフォーマンスをどう見るか？
(BBC News 9th Feb 2009)

2005年	よい 70%	悪い 30%
2009年	よい 30%	悪い 70%

民間人犠牲者の増加

2006年戦闘による民間人犠牲者は少なくとも929人であったが07年は1,633人に増加。08年市民の被害者数は2,118人。今年10月までに2,021名の死亡者。反政府による攻撃もある一方、08年1月から09年1月までに750名以上が外国軍の空爆で死亡している。

(UNAMA, Human Rights Watch, OXFAM 資料より)

支援の必要

- ・ 複合危機状態として、アフガニスタン政府、国連アフガニスタン支援ミッションは08年7月に人道緊急アピール。現在でもアフガニスタン人口の38%は十分な食料が得られない。
- ・ 「アフガニスタン人道行動計画09年」今年6月時点では、日本政府が16.7%と支援額トップ。
(IRIN 25th June 2009)
- ・ アピールされた6億6千万USドルのうち、68%のみが集まっている状況。保健分野でカバーされたのはわずか4%。「水と衛生」分野41%のみ。
(09年10月現在の国連人道問題調整事務所発表)

2) 地方復興チームに関して

PRT (地方復興チーム) とは何か？

- ・ (アフガニスタンの) 治安、開発、統治という平和構築の3つの局面を総合的に対応するために軍事組織と文民組織が1つのチームとして行動すること。(外交フォーラム09年10月号今井千尋氏)
- ・ 現在アフガニスタン全土で国際治安支援部隊 (ISAF) のもと26のPRTが活動している。ただし主導国各国でPRTの特徴も大きく異なる。
- ・ 1万件以上のプロジェクトをすでに実施。
日本政府のPRT関連の支援
- ・ チャグチャランで実施するリトアニア軍に外務省職員4名派遣。チャグチャランはJVCの活動するナンガルハル県と比較し、治安・犯罪件数は約半分。
- ・ 各PRTが案件を挙げ、ISAF本部に配属される大使館職員が草の根無償(20億円)を査定。
NGO側からのこれまでの批判
- ・ 公平性・中立性といった人道原則が人身掌握を目的としたPRTの活動によって、あいまいにされている。その結果NGOの活動範囲が狭まり、住民のニーズを満たすことができない。
- ・ 各国のPRTが活動している地域、政治・軍事目的のある地域に援助が集中し、地域格差が生じている。(NRC 2008年6月)

- ・ PRT が UN や NGO の活動ができる比較的治安の良いところで実施している。
- ・ QIP が中心で長期的視点、住民参加の視点が欠けている。

例) JVC 支援の診療所での PRT や特殊部隊の医薬品・物資のばらまき

アフガニスタン市民の視点

- ・ アフガニスタン市民は「PRT と戦闘部隊の区別はつかない。」
- ・ テロとの戦いと一体化してしまった ISAF。その ISAF のもとでの PRT をどうみるか？

アフガニスタン民軍調整ガイドライン(GUIDELINES FOR THE INTERACTION AND COORDINATION OF HUMANITARIAN ACTORS AND MILITARY ACTORS IN AFGHANISTAN)

- ・ 軍隊は主として治安に責任を持つ。また軍隊は最終手段(ラスト・リゾート)

In line with recognised principles of humanitarian assistance and existing guidelines on civil-military relations, the overall humanitarian assistance effort in Afghanistan is best served through a division of responsibilities: government and humanitarian actors have the primary role of providing humanitarian assistance, and the military is primarily responsible for providing security, and if necessary, basic infrastructure and urgent reconstruction assistance limited to gap-filling measures until civilian organisations are able to takeover.

- ・ 一方で PRT を開発アクターとして容認。

Although the mandate of PRTs does not refer to humanitarian activities, given the significant involvement of PRTs in civilian affairs, and in civil-military liaison, this section outlines the principles which govern their operations.

- PRT activities are to support local priorities within the national development framework, such as the Afghan National Development Strategy.
- PRTs should coordinate their activities with the GoA/UNDP/UNAMA sub-national governance programme and other stakeholders in provinces where the programme is being implemented.

Approved by UNAMA, ACBAR, ISAF, OEF, National Security Forces of the Government of the Islamic Republic of Afghanistan,

- ・ カブール、各地域で民軍調整会議が開催され、ISAF と NGO が協議。東部の会議では NGO が具体的な事例を挙げ、問題提起をする。
- ・ 昨年前半、東部で米軍 PRT が実施する NGO 活動領域でのばらまき活動が連続して起こったため、その行動を NGO が米軍 PRT に非難。08 年後半からナンガルハル県では減少した。しかし、09 年夏に東部で米軍 PRT による現金ばらまきや ISAF による空からの食料配布が UN などとの調整もなく断続的に実施された。

3) アフガニスタンのケースを受けて問題提起

アフガニスタンの PRT は人道原則に沿ってどう評価すべきか？

人道の原則、公平の原則、中立・不偏不党の原則

アフガニスタンの PRT は復興・人道支援の最終手段と言えるのか？

戦闘の激しいヘルマンド、カンダハールといったアフガニスタン政府や国際 NGO が活動できない 5 県でも 17 の国内 NGO が住民と連携しながらプロジェクトを実施。

カンダハールに住む人からの話し「今、PRT を受け入れる心情にはなれない。」

PRT を 3D と言われる(外交・軍事・開発)の戦略的な連携を図る有効なアプローチと考えるか？そもそも 3D の問題性は？

米国や NATO との関係 アフガニスタンに必要とされる支援のアプローチ

イラクの陸自派遣の検証は？

- ・ 最終手段であったのか？代替案はなかったのか？
- ・ 陸自派遣と ODA との連携の検証も。